

1 学年題材指導評価計画

おんがくにあわせてドレミ！（8時間扱い）

1. 題材のねらい

リズムに合わせて身体表現ができるようにする。

旋律のまとまりを感じ取りながら，階名唱したり楽器で演奏できるようにする。

2. 教材について

（1）音楽発表会の教材曲

《学習指導要領1・2学年の内容との関連》A（2）ア，A（2）イ，A（2）ウ，A（4）ア
ウタリ オブン パレワ（輪舞）

アイヌ古式舞踊。アイヌ古式舞踊は，ウポポ（歌）と手拍子で旋律と拍をつくり踊られる。現在伝わっている歌や舞踊は，いくつかのジャンルに分けることができる。この「ウタリ オブン パレワ」は「みんな立ち上がって踊りましょう」という意味で，踊りが始まる時の前歌となっている。手拍子と足の運びが一体となっており，拍の流れに乗りやすい舞踊である。

チロンヌプ リムセ（キツネの踊り）

アイヌ古式舞踊。長く厳しい冬が終わりを告げ，暖かな春がやってきて，チロンヌプ（キタキツネ）たちが喜んでいる様子を踊りにしたものと考えられている。チロンヌプたちが，野原をはね回っている様子や，大きなしっぽを振っている様子を楽しく身体表現させていきたい。

バツタキ ウポポ（バツタの踊り）

アイヌ古式舞踊。昔，北海道の十勝でバツタが大発生したことを公正に伝えるために，作られたものといわれている。「前でひざがしらをすりあわせ」とか「後ろで羽をすりあわせ」という意味の言葉が歌に含まれている。手拍子に合わせて，バツタのしぐさをまねして身体表現をさせたい。

クリムセ（弓の踊り）

アイヌ古式舞踊。山へ狩りに行き，美しい2羽の親子の鳥が仲良く飛んでいたのに，矢を射ろうとしたが，その姿に見とれて弓を引けなかったという様子を踊りにしたものとされている。手拍子に合わせて，力強く大地を踏みしめたり，矢を射ろうとする姿を勇壮に表現させたい。

（2）ひのまる（文部科学省唱歌／高野辰之作詞・岡野貞一作曲）

《学習指導要領1・2学年の内容との関連》A（1）イ

この旋律は， $\textcircled{C} \quad \textcircled{C} \quad | \quad \textcircled{C} \quad \textcircled{C} \quad | \quad \textcircled{C} \quad \textcircled{C} \quad | \quad \textcircled{C} \quad \hat{I} \quad ||$ のリズム形が反復されているので，旋律のまとまりを感じやすい。また，旋律はド～ラまで，ほとんど順次進行になっていることから，絵譜を見ながら階名唱するにも適している。

(3) どんぐりさんのおうち(久野静夫作詞/市川都志春作曲)

《学習指導要領1・2学年の内容との関連》A(2)ウ, A(3)イ

この曲は、鍵盤ハーモニカやオルガンなどの鍵盤上に、歌を通してドとソの位置を見つけられるようにすることを意図してつくられた鍵盤楽器の導入教材である。表現を楽しみながら鍵盤ハーモニカでドとソの演奏に慣れさせるようにしたい。

(4) もりのきりかぶ(高木あきこ作詞/黒沢吉徳作曲)

《学習指導要領1・2学年の内容との関連》A(1)イ, A(2)ア, A(2)ウ, A(1)イ

切り株に動物たちがやってきて、いろいろなしぐさを見せる様子を描いた曲である。旋律はド～ラまでが順次進行とした流れで構成されており階名模唱や楽器演奏の教材として適している。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受 や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	拍の流れや旋律の まとまりに興味・ 関心をもち、進ん で身体表現をした り、歌ったり演奏 したりしようとし ている。	拍の流れを感じ取 って工夫して歌っ たり身体表現した り、楽器の音色の 違いに気を付けて 演奏の仕方を工夫 したりしている。	拍の流れにのって 歌ったり、楽器を 演奏したりしてい る。	拍の流れや、旋律 のまとまりを感じ 取りながら聴いて いる。

<p>リズムに合わせて進んで身体表現をしようとしている。 〔Aと判断するキーワード〕 楽しそうな表情 身体全体で表現 リズムに合った動き</p> <p>旋律のまとまりに関心をもち、進んで階名唱をしようとしている。 〔Aと判断するキーワード〕 まとまりを常に意識して、階名を積極的に使って歌う。</p> <p>鍵盤ハーモニカに関心をもち楽しく演奏しようとしている。 〔Aと判断するキーワード〕 楽しそうに演奏 真剣な表情</p>	<p>歌詞に出てくる動物や人物の様子を思い浮かべて歌ったり、身体表現の仕方を工夫したりしている。 〔Aと判断するキーワード〕 動物や人物に合わせた動き</p> <p>歌詞の内容に合わせた表現 鍵盤ハーモニカの音色の違いを感じ取りながら、演奏の仕方を工夫している。 〔Aと判断するキーワード〕 効果的なタンギング 息の効果的な調節</p> <p>友達の手拍子や歌、伴奏の響きを感じ取って身体表現の仕方を工夫している。 〔Aと判断するキーワード〕 リズムに合わせて踊る 手拍子に合わせて踊る</p>	<p>旋律のまとまりを感じながら、階名で模唱や暗唱をしながら歌っている。 〔Aと判断するキーワード〕 正しい音程で階名唱 すぐに模唱暗唱して</p> <p>拍の流れののって正しい音や響きに気をつけながら、鍵盤ハーモニカ演奏している。 〔Aと判断するキーワード〕 拍の流れに合わせたスムーズな演奏 適切なタンギング</p> <p>友達と一緒に音程やリズムをそろえながら演奏している。 〔Aと判断するキーワード〕 正確な音程で演奏 拍の流れに合わせて演奏</p>	<p>旋律のまとまりを感じ取って聴いている。 〔Aと判断するキーワード〕 友達の演奏でよかったところを自分なりの言葉で発表 旋律のまとまりに関する発言</p>
---	---	---	---

4. 指導と評価の計画（8時間扱い）

： 取り扱い項目 取り扱い重点項目

学習活動	具体の	指導要領	内容のまとまり	評価方法
------	-----	------	---------	------

		評価規準	との関連	歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1 ・2	(ウタリ オブン パレワ他) 歌や踊り, 全体の感じをとらえて歌ったり踊ったりする。 ・範唱に合わせてリズムにおもしろさに気づき, 自由に身体を動かしてみる。 ・範唱を聴いたり, 教師の踊りを見たりして感じをつかむ。 ・友達と一緒に楽しくリズム表現する。 ・友達の手拍子や歌に合わせて踊る。	アー アー イー	A(2)イ A(2)イ A(2)ウ					身体表現 の観察 身体表現 の観察 身体表現 の観察
3 ・ 4	自分が選んだ踊りの練習をする。 ・歌と手拍子に合わせて踊る。 ・歌詞に出てくる場面や生き物たちの様子を想像しながら踊る。 互いの踊りを発表し合う。 ・友達の踊りを見て, よいところに気が付き, 表現に生かす。	イー イー	A(2)ア A(2)ア					身体表現 の観察 発言・発表
5	(ひのまる) 曲全体の感じをつかんで歌ったり, 階名唱をしたりする。 ・範唱を聴いたり, 範唱に合わせて歌ったりする。 ・絵譜を見ながら階名で歌う。 ドレミ遊びをしながら階名模唱に親しむ。 ・階名唱に合わせてドレミ遊びをする。 ・歌いながらドレミのハンドサインやドレミ遊びをしたりする。 ・指導者が演奏した旋律を聴いて, ハンドサインやドレミ遊びをしながら, 階名で模唱する。	アー ウー	A(1)イ A(1)イ					態度・表情 の観察 歌唱聴取 行動観察

6	<p>(どんぐりさんのおうち)</p> <p>鍵盤ハーモニカの奏法に親しみ、リズム演奏をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの範奏を聴く。 ・鍵盤ハーモニカの構え方や吹き方を知り、自由に音をだしてみる。 <p>ドとソの音を覚えて鍵盤ハーモニカ遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タンギングをするとき、しなやかなときの音の違いに気を付けていろいろな音を出す。 ・タンギングに気を付けながらドやソの音でリズム演奏をする。 ・友達の音を聴きながら、主旋律とリズム奏を合わせて演奏する。 	<p>ア -</p> <p>イ -</p> <p>ウ -</p> <p>ウ -</p>	<p>A (3) イ</p> <p>A (3) イ</p> <p>A (3) イ</p> <p>A (2) ウ</p>					<p>態度・表情観察</p> <p>演奏聴取</p> <p>演奏聴取</p> <p>演奏聴取</p>
7	<p>(もりのきりかぶ)</p> <p>範唱を聴いて歌詞で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ・歌詞に出てくる言葉を楽しみながら歌う。 <p>旋律を階名で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律を部分階名唱で歌う。暗唱する。 ・階名を暗唱して歌う。 	<p>イー</p> <p>ウー</p>	<p>A (2) ア</p> <p>A (1) イ</p>					<p>歌唱聴取 表情観察</p> <p>歌唱聴取</p>

8	<p>歌と楽器を合わせて演奏したり，楽器と歌を合わせて楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階名の部分を演奏する。 ・教科書のあ～えの旋律から選んで，歌と合わせて演奏する。 <p>歌と鍵盤ハーモニカで発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌と鍵盤ハーモニカのグループに分かれて発表する。 ・お互いに聴き合い，よかったところを話し合う。 	ウー	A (2) ウ					演奏聴取
		エー	B (1) イ					発言・発表